

施設における リスクマネジメントの重要性

医療法人社団 らぽーる新潟
ショートステイ・ゆきよしとやの

嶋津 歩

施設側に起こるリスク

何度も起
こる事故

重大な
事故



利用者からの
クレーム

地域社会の
信用損失

潜在顧客の損失

経済的損失



経営危機
に直面

事故予防対策としてどのような
リスクマネジメントを行っていくか

事故発生リスクの把握



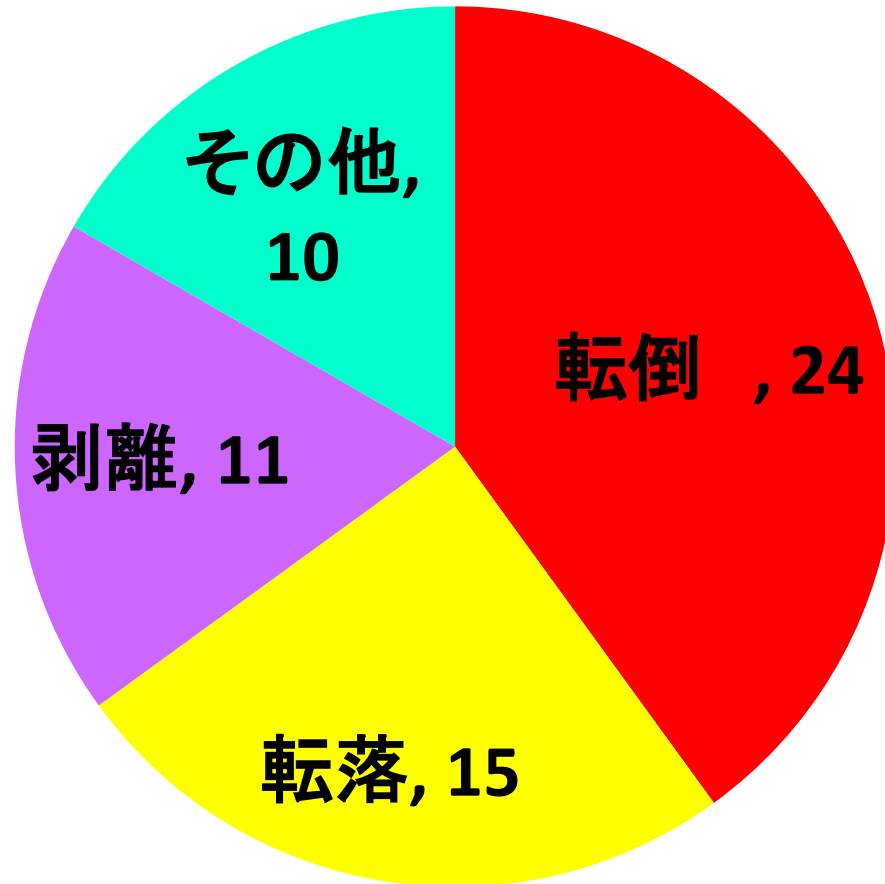
リスクの分析



対策の立案と実行

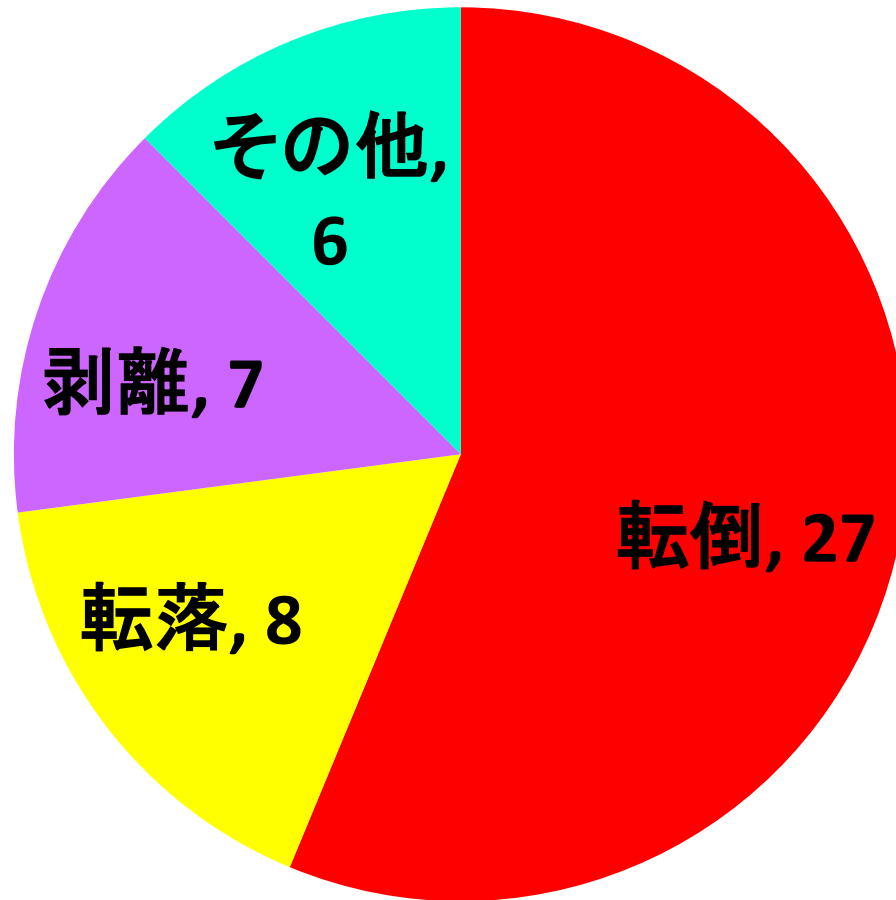
事故内容(平成23年)

事故総数 60件



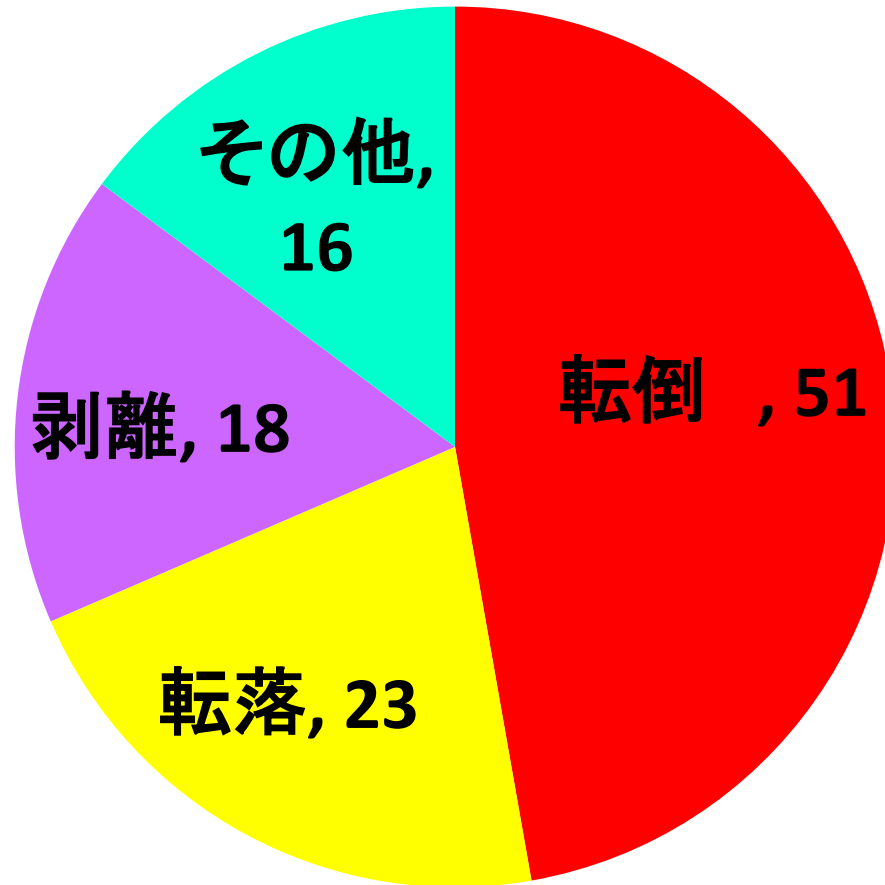
事故内容(平成24年)

事故総数 48件



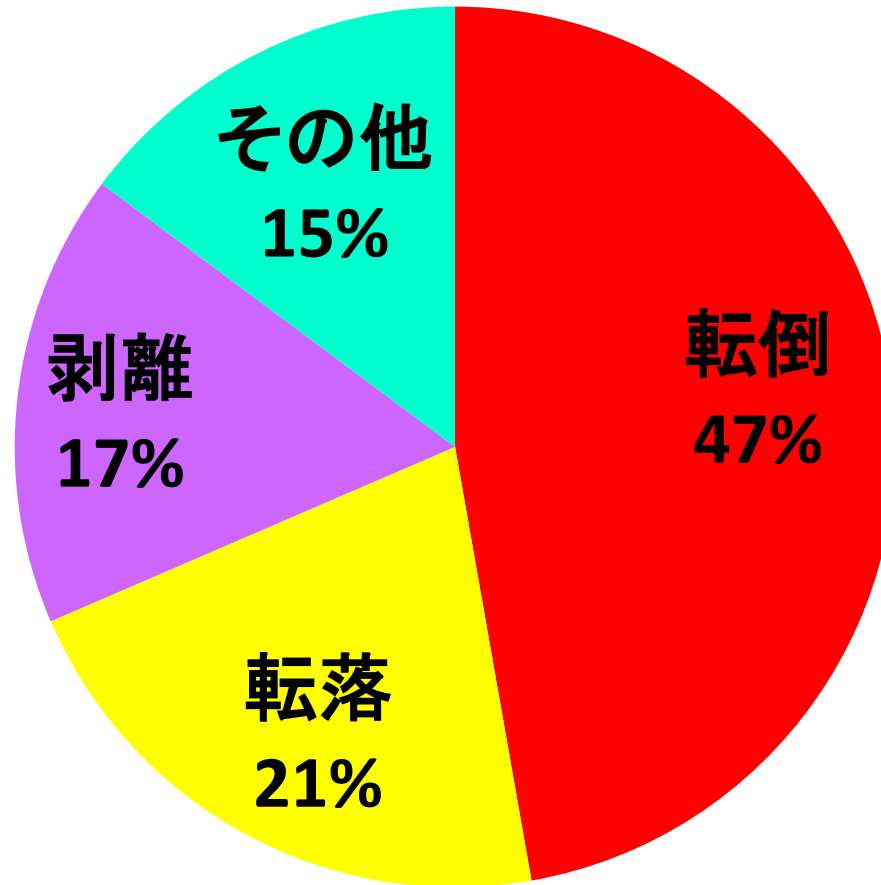
事故内容(平成23年+24年)

事故総数 108件



事故内容(平成23年+24年)

事故総数 108件



事故内容のデータ収集から

- 事故内容から施設で起こる事故の約半数に転倒がある。
- 転倒事故の中で2件重症（骨折）により入院が発生した事故がある。
- また重症の事故1件においては明らかに職員側の安全管理の過失があった。
- 発生した事故の中で特定の方に複数回起きている事故があった。
- 職員の対応次第で防げた事故が幾つかあった。

事故の分析より

- ご利用者様の身体状況や過去の事故報告から、起こる可能性があるリスクに気付ける職員が少なかった。
- 事故報告書に記載してある対応策をただ読んでいるだけで、実行していない職員がいた。



- 職員間で危機管理意識に差があり、意識の低い職員が原因となりうる事故により重大な事故に変わってしまう危険性がある。

対応策として

- 職員の危機管理意識を向上させるための勉強会の実施。
- ひやりはっと報告書を活用し事前に事故予防を検討し周知徹底させる。
- 新規御利用や身体状況が変わった方に対して事前にカンファレンスを行い情報を周知徹底させる。

最後に

- 今回事故発生リスクの把握をすることによって職員の危機管理意識に差があること、それが原因として考えられる事故が幾つかあり今後の対応に活かせる事ができました。
- ですが今回出た職員の危機管理意識は原因の1つであり、まだ様々な原因があります。
- その為リスクマネジメントは1人では限界がありますが、1人1人の危機管理意識の向上を行い施設全体でリスクマネジメント行っていくことで様々な原因を見つけることができ、リスクの減少に繋げる事が出来ます。
- その為リスクマネジメントを行うための環境整備等は必須となります。

ご清聴ありがとうございました。